

October 8, 2019

【前日の為替概況】ドル円、米中通商協議の進展期待から 107.46 円まで上昇

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は上昇。終値は107.26円と前営業日NY終値(106.94円)と比べて32銭程度のドル高水準だった。アジア市場では「中国当局者はトランプ米大統領が求める幅広い通商協定で合意することに一段と消極的な姿勢を示している」と伝わり、週明け早朝取引で一時106.57円まで売り込まれる場面があった。

ただ、NYの取引時間帯では底堅く推移した。クドロー米国家経済会議(NEC)委員長が米FOXニュースのインタビューで「米中通商協議は進展する可能性がある」「中国企業の上場廃止は検討していない」などと発言し、米中協議進展期待が高まった。さらに「中国は来年にかけてより困難な問題を解決するためのタイムスケジュールを準備する用意がある」と伝わり、米国株の持ち直しとともに円売り・ドル買いが活発化し、107.46円まで上値を伸ばした。もっとも、米中貿易協議への警戒感は強く米国株が再び下げに転じると、ドル円も107円台前半で伸び悩んだ。

なお、日米両政府の代表者は7日、ワシントンで日米貿易協定に正式に署名した。その際、トランプ米大統領は「中国との貿易協定の合意の可能性ある」「中国との部分的な貿易合意は私たちが望むものではない」などと述べた。また、米政府は中国の監視カメラ大手ハイクビジョンを含む中国企業8社をブラックリストに加えた。市場では「貿易協議にも影響する可能性がある」との指摘があった。

ユーロドルは5営業日ぶりに小反落。終値は1.0971ドルと前営業日NY終値(1.0979ドル)と比べて0.0008ドル程度のユーロ安水準。上値の目処として意識されていた3日の高値1.0999ドルを上抜けて一時1.1001ドルと9月25日以来の高値を付ける場面もあったが、1.10ドル台では戻りを売りたい向きも多く滞空時間は短かった。米10年債利回りが1.56%台まで上昇したことも相場の重しとなり、1.0969ドル付近まで押し戻されている。

ユーロ円は続伸。終値は117.66円と前営業日NY終値(117.39円)と比べて27銭程度のユーロ高水準だった。米中貿易協議の進展期待が高まると、一時は150ドル近く下落したダウ平均が持ち直したため円売り・ユーロ買いが優勢に。ドル円の上昇につれた買いも入り、一時117.91円と日通し高値を付けた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米中通商協議関連の報道に要警戒か

本日の東京市場のドル円は、10-11日の第13回米中通商協議に向けて、昨日から本日にかけて開催されている米中次官級通商協議からの報道に警戒する展開となる。

昨日早朝のシドニー市場のドル円は、「中国当局者はトランプ米大統領が求める幅広い通商協定で合意することに消極的な姿勢を示している」との報道を受けて106.57円まで下落した。しかし、ニューヨーク市場では、クドロー米国家経済会議(NEC)委員長が「米中通商協議は進展する可能性がある。中国企業の上場廃止は検討していない」と述べ、「中国は来年にかけてより困難な問題を解決するためのタイムスケジュールを準備する用意がある」との報道を受けて、米中通商協議の進展期待が高まり、107.46円まで上昇している。

しかし、外国為替市場ではリスク回避後退でドル高・円安地合いとなっているものの、ニューヨーク株式市場はマイナス圏で引けてリスク回避地合いが続いており、10-11日の第13回米中通商協議に向けて予断を許さない状況が続くことになる。

米中通商協議に関するポジティブな報道は以下の通り。

- ・クドロー米国家経済会議(NEC)委員長発言「米中通商協議は進展する可能性」
- ・中国側がタイムスケジュールを準備する用意
- ・中国側が米国産農産物の輸入再開
- ・トランプ米大統領発言「中国との貿易協定の合意の可能性ある」

ネガティブな報道は以下の通り。

- ・ナバロ米大統領補佐官(通商担当)発言「中国と重要な合意を得るか、合意なしかどうか」
- ・トランプ米大統領は「部分合意」「悪い合意」は望まない
- ・米上下両院外交委員会が「香港人権・民主主義法案」を可決し、中国側が反発
- ・中国側は米国との通商合意に向けて協議の範囲を狭める模様
- ・米政府が中国企業8社をブラックリストに加えた

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 8月家計調査（消費支出、予想：前年比1.2%）
- 08:30 ◇ 8月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比▲0.2%）
- 08:50 ◎ 8月国際収支速報
 - ◇ 経常収支（予想：季節調整前2兆695億円の黒字／季節調整済1兆6821億円の黒字）
 - ◎ 貿易収支（予想：364億円の黒字）
- 14:00 ◇ 9月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数43.3／先行き判断指数38.7）

<海外>

- 09:30 ◇ 9月豪NAB企業景況感指数
- 10:45 ◎ 9月Caixin中国サービス部門購買担当者景気指数（PMI、予想：52.0）
- 13:00 ◎ カーニー英中銀（BOE）総裁、東京で講演
- 14:45 ◇ 9月スイス失業率（季節調整前、予想：2.1%）
- 15:00 ◎ 8月独鉱工業生産（予想：前月比▲0.1%／前年同月比▲4.3%）
- 15:45 ◇ 8月仏貿易収支（予想：44.8億ユーロの赤字）
- 15:45 ◇ 8月仏経常収支
- 18:30 ◎ テンレイロ英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演
- 18:30 ◎ レン欧州中央銀行（ECB）専務理事兼チーフ・エコノミスト、デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 21:15 ◇ 9月カナダ住宅着工件数（予想：21.45万件）
- 21:30 ◇ 8月カナダ住宅建設許可件数（予想：前月比▲1.0%）
- 21:30 ◎ 9月米卸売物価指数（PPI、予想：前月比0.1%／前年比1.8%）
 - ◎ 食品とエネルギーを除くコア指数（予想：前月比0.2%／前年比2.3%）
- 9日 02:00 ◎ 米財務省、3年債入札
- 9日 02:35 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- 9日 03:30 ☆ パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長、講演
- 9日 06:00 ◎ カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 米中次官級貿易協議（ワシントン、最終日）
- インド（ヒンズー教ダシエラ祭）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

日 07:52 ジョージミカンザスシティ連銀総裁

「現在の状況では低インフレへの懸念は不要だろう」
「データが弱ければ政策の調整が必要となる可能性」
「米国の金利据え置きは妥当」

7 日 11:20 菅官房長官

「北朝鮮の非核化に向け、米朝プロセスを後押ししていく」

7 日 17:25 安倍首相

「米国とトウモロコシ購入の合意をした事実はない」

7 日 18:09 欧州中央銀行(ECB)

「地政学リスクが国際的な金融市場の成長、ならびに欧州圏の経済見通しのリスクになっている」

7 日 19:07 茂木外相

「日米、ワシントンで 10 月 7 日に貿易協定署名」
「来年 1 月 1 日の発効を目指す」

7 日 19:48 ジョンソン英首相報道官

「国民は平和的に抗議をする資格があるが、法の範囲でなくてはならない」
「期間限定のバックストップを求めている」

7 日 23:51 カシユカリミネアポリス連銀総裁

「経済はより多くのリスクに直面」
「まだどの程度利下げするべきは分からない」

7 日 23:52 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長

「米中貿易交渉の結果を予測したくない」
「中国企業の上場廃止は検討していない」

7 日 23:56 米当局者

「米国はトルコの軍事行動を支持しない」

8 日 00:58 トランプ米大統領

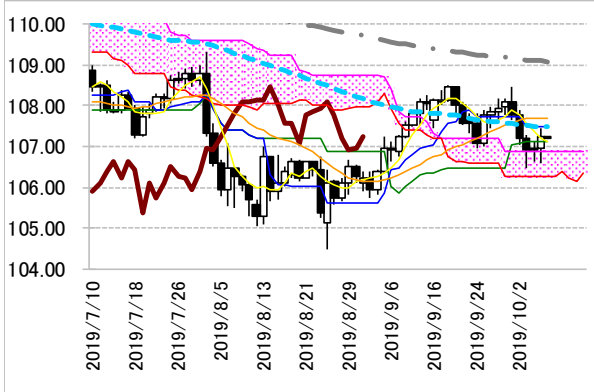
「トルコは私の望まぬことをすれば経済的に破壊し抹殺する」

8 日 05:36

「中国は米国に取引をするためにやってくる」
「香港に関して人道的な解決策を求める」
「中国との部分的な貿易合意は私たちが望むものではない」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

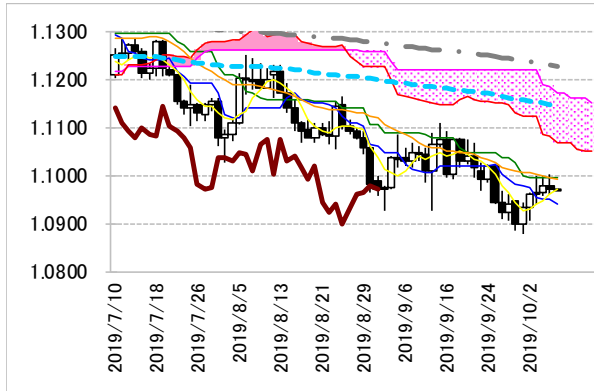


<ドル円=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。トリプル・トップ（108.48円・108.47円・108.47円）で反落したものの、雲が支持帯となり2手連続陽線で反発している。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下回れば手仕舞い。

レジスタンス1	108.47(10/1 高値)
前日終値	107.26
サポート1	106.89(日足一目均衡表・雲の上限)
サポート2	106.25(日足一目均衡表・雲の下限)

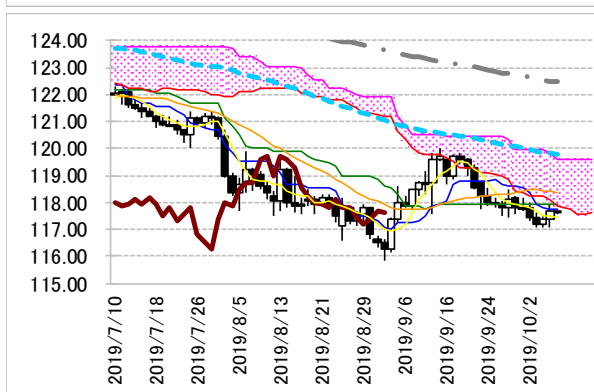


<ユーロドル=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・転換線は一目・基準線を下回り、雲を下回って引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。4手連続陽線で反発していたものの、孕み線で反落しており、下落トレンド再開の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1067(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.0971
サポート1	1.0940(日足一目均衡表・転換線)

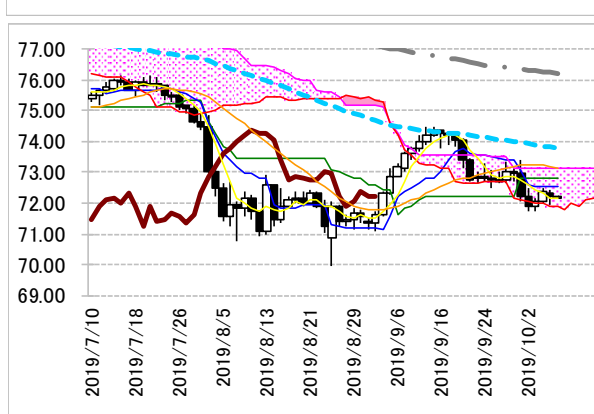


<ユーロ円=10/3・7安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・転換線は一目・基準線を下回り、雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかしながら、底値圏での孕み線、2手連続陽線で反発の可能性が示唆されている。

本日は、10月3・7日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	117.94(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	117.66
サポート1	117.08(10/3・7安値)



<豪ドル円=基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。遅行スパンは実線を上回り、雲の中で引けているものの、一目・転換線は一目・基準線を下回り、一目・転換線を下回って引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	72.80(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	72.21
サポート1	71.87(日足一目均衡表・雲の下限)

